奉還町商店街＆池田動物園コラボ！お店を巡る動物発見ラリー

池田動物園奉還町商店街連携委員会

活動の目的

池田動物園は施設老朽化や飼育維持等の費用問題・少子化などの外部脅威要因に直面し、奉還町商店街・西奉還町商店街は経営者の高齢化や大型商業施設の台頭などの外部脅威要因に直面している。それぞれの問題に直面する中、共通した打開策がある。それは外部からの利用者数の増加と内部の活性化である。今回の活動目的は2つの岡山駅西側の大規模施設がそれぞれの持つ資源を提供・活用し合い、新たな観光資源と活性を創出することである。また池田動物園の動物園として提供できる教育文化資本を地域に還元して社会貢献性を高めることと、奉還町商店街・西奉還町商店街の地域の経済的役割、ひいては「人が交流する場所」としての機能を高めることも目標として活動を行う。これらを念頭にそれぞれの組織が連携を行い、関係性の深化の方法と継続した価値創出方法を研究する。

活動の内容及び経過

奉還町商店街･西奉還町商店街に出現した動物看板をたよりにお店を巡り、参加者を池田動物園へと導く地域連携型活性化イベントである。動物看板が掲載されている商店街の店舗で商品を購入すると限定シールを獲得でき、10枚シールを集めて池田動物園に入園すると限定景品を獲得できる。動物の魅力と商店街の店舗を同時にPRする企画内容だ。本企画始動に向けて、今回参加していただいた商店街店舗と池田動物園の動物のコラボシールをデザインして参加者に提供した。商店街店舗に池田動物園の動物の中でコラボしたい動物を調査するとともに、店舗の外装や提供価値も同時に調査することで2点それぞれを訴求できる本企画限定シールが完成した。またイベントポスターや商店街マップなどの利用者のためのツールも制作。奉還町商店街･西奉還町商店街を起点にコラボイベントを開催した。

活動の成果・効果

本活動の中で最も大きな成果としては、奉還町商店街･西奉還町商店街と池田動物園の間に連携実績を積み重ねられたことと関係性強化を行えたことである。2者は約20年ほど大きな協力活動を行っていなかった。本活動をきっかけに再度関係性を構築することができたことは今後の地域活性化に向けて大きな成果であるといえるだろう。また本イベントの開催で双方組織の活性化にもつながったと考えられる。今回参加していただいた商店街店舗様は34店舗と大規模に。また本イベントのシールを受け取った想定イベント参加者数はおおよそ430人～650人程度。（特典交換をした来園者数13人を成果率2%～3%と仮定して、100%の訪問者数・参加者数を換算）今回商店街店舗の利用者に提供したシールは本活動で0から生み出した限定品であるため、イベントとイベント付属品によって店舗の販売促進と動物園の外部地域貢献にもつながったと考えられる。



奉還町商店街のイベント時のお店の看板の様子

今後の課題と問題点

本活動では一定の参加人数は想定できるものの、最終目標のイベント参加人数1500人には到達できていなかった。イベントへの参加人数増加は本活動目的に直接的につながるため、改善する必要があると考えられる。目標達成人数に至らなかった原因はとしては①認知度不足②イベントの参加条件のハードルの高さ③観光客へのアプローチ不足が挙げれられる。まだ委員会を樹立して1年程であるため経験を含む組織の知識的な資本は少ない。これらの比較検討と実行を繰り返してこれからの最適かつ目的に対して大きな効果が得られる活動形態を確立することが今後行うべきことだ。また関係する他団体を増やして活動規模を大きくすることにも前向きでいたい。新しいアイデアと実行力の強化も重要課題であると考える。

●代表者：坂口幸亮
●E-MAIL：opu.stu4.sakaguchi2023@gmail.com
●設立年：2023年　●メンバー数：4名